



IT業界 多様性の風を

会津大学が2月18日、開学30周年記念事業として「女性活躍×ICT×女性デジタル人材育成シンポジウム」を同大学の講義室で開いた。「理工系大学として、ICTを活用した女性の働き方を後押ししていきたい」という会津大の東原恒夫理事長・学長の挨拶に続き、「今、求められる女性デジタル人材」をテーマに、桜の聖母短期大学（福島市）の西内みなみ理事・学長と、須賀川瓦斯（福島県須賀川市）の橋本直子社長が基調講演。「多様な働き方とデジタル人材」と題して経営者や有識者によるパネルディスカッションも行われ、約70人が聴き入った。

「女性だから…」を超えよう ■基調講演①

狩猟社会から農耕、工業社会へと進み、現在は情報社会から「Society 5.0」と呼ばれる創造社会へと変わりつつあります。

大学短期大学
聖母短期大学
理事・学長
桜の

西内みなみ氏

これからは「正解のない時代」。「知識」や「技術」を身につけるだけでは生き残ることが難しい。性差にとらわれていても、時代の変化に取り残されてしまします。そうした中で女性が



東京大学院教育学研究博士課程満期退学。
2016年より現職。福島県地域創生・人口減少対策有識者会議などの公職を歴任。

中小企業デジタル化急務 ■基調講演②

弊社の主な業務はプロパングスの供給で、スーパーやフィットネスクラブの運営も手がけています。

株式会社
瓦斯株式会社
代表取締役社長
須賀川

橋本直子氏

福島市の調査によると、地方の中小企業が抱える課題の上位を、人材や雇用の確保やデジタル化の対応が占めています。実際、デジタルに精通し



福島県須賀川市出身。ロンドン大学UCLで修士号を修め、英国ルイ・ウィトン社勤務。2011年に須賀川瓦斯に入社。18年より現職。

自由・多様さ アイデアの源 ■パネル討論

■自分軸で生きる

西内先生と橋本さんの講演を受け、コメントをいただきました。佐藤

パラタイムを変え

のために自分の言葉を大切にすると、西内先生のお話は、まさにその通りだと思いました。私は一人娘だったので、父の会社を継ぐ際に「お嬢さんを」と周囲にさんざん言われて、それがパラタイムになっていて反発した記憶があります。

田中 私自身も学生までは他人軸で生きてきたように思います。お話を聞いて、自分軸で生きることの大切さを再認識しました。

大竹 私は子どもの時から実験が好きで、そのまま大人になって海外の人たちとチームを組んで研究をする機会も多かったのですが、「女性だから」ということを意識したことはありません。ただ、周囲からは「女性なのに」と言われることは多

かったかもしれません。

——IT業界は男社会という印象を持っている人は多いのかもしれないね。

佐藤 私の場合、安室奈美恵さんがロールモデル。アイドルに憧れたわけではなく、自分の人生は自分しか生きられないというところを彼女の活動を通して教えられました。

田中 短大卒業後、スーパーに就職しましたが、IT関連の仕事がしたいと、会津大のITキャリアアッ

■企業経営に重要

——IT業界でもダイバーシティは重要です。大竹 研究でも多様なアイデアが出た方がいい。そこからすばらしい解決策に結びつくこともあります。

田中 意見を自由に言うことは有益なことです。

佐藤 福島の中学を卒業後、帰国子女が多く通う東京の高校に進学しました。そこで様々な背景を持つ人と生活した経験が今も影響しています。今回のイベントは「女性」のデジタル人材に焦点を当てていますが、性差を問わず、多様な存在を受け入れることが企業経営や人材活用にとって重要になってきています。

■公立大学法人会津大学（福島県会津若松市）日本最初のコンピュータ理工学専門の大学として1993年に開学。2019年に宇宙情報科学研究センターを設置するなど、社会のニーズの変化に応じて、教育・研究内容が進化している。さらに、福島県の女性にITスキルや就業の機会を提供する「女性プログラマ育成塾」をスタート。20年度から「女性のためのITキャリアアップ塾」として内容を拡充し、女性デジタル人材の育成事業としても注目を集めている。



会津大 宇宙情報科学研究センター教授
大竹真紀子氏
ファシリテーター
金子恵美子氏（学生部長・教授）



アクシス株式会社
田中リナ氏

2023年2月「女性のためのITキャリアアップ塾」修了。同年3月から現職。



福島トヨペット株式会社
代表取締役副社長
佐藤藍子氏

2019年より現職。父の経営する販売会社で、風土改革や社員共育を推進。



「多様な働き方とデジタル人材」について議論するパネリストら